

科目区分	専門教育科目	授業科目名	栄養教育指導論実習Ⅱ			科目コード	24S604	担当者	富工 由貴			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 栄養士コース	配当年次	2年次	開講学期	前期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	栄養士必修		
授業形態	実習	履修条件	「栄養教育指導論実習Ⅰ」の単位を修得済みであること。								教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目		該当	実務の経験内容及び科目との関連	病院の管理栄養士として長年患者への栄養指導業務、及び患者の栄養管理業務に従事した経験を生かして、栄養教育指導の実際について実習指導を行う。								科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	学生が栄養指導を行う際に必要となるスキルを修得することを目標とする。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	提出されたレポートは添削して返却。実技試験は発表後に班ごとに総括を実施。その他、オフィスアワーの時間に質問への対応を行う。定期試験の結果については、追再試験期間中に対応する。
授業の方法	実習・演習形式	アクティブ・ラーニングの実施方法	グループごとに選択したテーマで、栄養指導の模擬演習を行う。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	栄養教育指導論実習Ⅱの概要について アンケート・喫食調査について	シラバスを読み、科目の概要を確認しておくこと。	第9回	集団栄養指導の実施 2回目 ②（原稿作成および媒体作成）	発表の練習と、必要な場合は栄養指導に必要な媒体の作成を行う。	
第2回	集団栄養指導について（理論）	授業内容を参考に、自ら行いたい栄養指導案について調査を行う。	第10回	集団栄養指導の実施 2回目 ③（媒体作成及び中間発表）	中間発表で指摘された内容に基づき発表内容の修正を行い、本番の発表に向け練習を行う。	
第3回	集団栄養指導の実施 1回目 ①（指導計画案作成）	授業中に作成した指導計画案に基づき、自らのパートの発表原稿を作成する。	第11回	集団栄養指導の実施 2回目 ④（発表：実技試験）	発表後、自らの発表の問題点について評価を行う。（発表内容で評価を行う）	
第4回	集団栄養指導の実施 1回目 ②（原稿作成および媒体作成）	発表の練習と、必要な場合は栄養指導に必要な媒体の作成を行う。	第12回	栄養アセスメント①【臨床栄養学（講義）の教科書を持参すること】	臨床栄養学の教科書の「栄養アセスメント」と「栄養状態の判定」の部分を予め読み、予習を行っておく。	
第5回	集団栄養指導の実施 1回目 ③（媒体作成及び中間発表）	中間発表で指摘された内容に基づき発表内容の修正を行い、本番の発表に向け練習を行う。	第13回	糖尿病食品交換表の使用方法②	食品交換表を読み、前回の授業の復習を行っておくこと。（課題：交換表を用いた献立作成）	
第6回	集団栄養指導の実施 1回目 ④（発表：実技試験）	発表後、自らの発表の問題点について評価を行う。（発表内容で評価を行う）	第14回	栄養アセスメント②【臨床栄養学（講義）の教科書を持参すること】	臨床栄養学の教科書の「栄養アセスメント」と「栄養状態の判定」の部分を予め読み、予習を行っておく。	
第7回	糖尿病食品交換表の使用方法①	糖尿病について臨床栄養学の教科書を用い復習を行っておく。（課題：交換表を用いた献立作成）	第15回	給食だより等、各種栄養媒体の作成について	栄養教育指導論講義の教科書の「栄養指導で用いる教材・媒体」の部分を予め読み予習を行っておくこと。	
第8回	集団栄養指導の実施 2回目 ①（指導計画案作成）	授業中に作成した指導計画案に基づき、自らのパートの発表原稿を作成する。			事前・事後学修時間 （分／授業1回）	20分／授業1回

教科書 [書名／著者名／出版社]	糖尿病食事療法のための食品交換表／日本糖尿病学会／日本糖尿病学会・文光堂	受講生へのメッセージ	栄養に関する知識を多く修得していても、それを相手に伝え、行動を望ましい方向に変えることが出来なければ栄養士の仕事は成り立ちません。この実習では、グループで集団栄養指導を実際に行うことにより、栄養指導の方法論について学んでいきます。
参考書 [書名／著者名／出版社]	なし		

評価基準																		
		学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点比率（%） 学修成果の（%）	評価方法の配点比率（%）					学修成果の小分類			尺度					
					定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法／評価指標	レベル5 （S：100～90%）	レベル4 （A：89～80%）	レベル3 （B：79～70%）	レベル2 （C：69～60%）	レベル1 （F：59%以下）
観 点	心 心	態度・志向	① 学習意欲															
			② 規律性															
	創 造	知識・技能	③ 知識	34	34						栄養指導を行うために必要なスキルを修得し、指導に生かすことができる。	専門的知識	定期試験	栄養教育指導に関する基礎的な知識を十分に有し、他者へ説明できる。得点率90%以上。	栄養教育指導に関する基礎的な知識を十分に有している。得点率80～89%。	栄養教育指導に関する基礎的な知識を有している。得点率70～79%。	栄養教育指導に関する基礎的な知識をある程度有している。得点率60～69%。	栄養教育指導に関する基礎的な知識が不十分である。得点率59%以下。
			④ 技能	20			20				糖尿病患者のための食品交換表の使用方法を修得し、交換表の活用ができる。	専門的技能	提出物	糖尿病食品交換表の活用が十分にできる。	糖尿病食品交換表を適切に使って献立作成ができる。	糖尿病食品交換表の必要性を理解し、使い方の修得に務めている。	糖尿病食品交換表の必要性について理解している。	糖尿病食品交換表の意義や使い方に関心をもっていない。
		思考・判断	⑤ 情報活用能力	5						5	課題に沿ってインターネットや書籍等から情報を収集し、適切に活用することができる。	情報リテラシー	指導媒体講話内容	情報を適切に収集・分析・判断し、効果的な指導媒体を工夫して指導できる。	情報を適切に収集・分析・判断して指導媒体を作成することができる。	情報を収集・分析・判断して指導媒体を作成することができる。	集めた情報を使って指導媒体を作成することができるが、検討が不十分。	課題に沿った情報の収集ができない。
			⑥ 課題解決力	6	6						学んだ知識や技術を活かして課題解決の道筋をつけることができる。	問題発見力 思考力	筆記試験 （記述問題）	栄養指導論の基礎的な内容や問題点を理解し、その内容を他者に説明できる。記述問題得点率90%以上。	栄養指導論の基礎的な内容や問題点を理解し、その内容をある程度説明できる。記述問題得点率80～89%。	栄養指導論の基礎的な内容や問題点を理解している。記述問題得点率70～79%。	栄養指導論の基礎的な内容や問題点をある程度理解している。記述問題得点率60～69%。	栄養指導論の基礎的な内容や問題点についての理解が不十分である。記述問題得点率59%以下。
		表現	⑦ 言語活用能力	10						10	対象の特性を踏まえて栄養指導の内容についてわかりやすく話することができる。	話す力	指導演習	対象者の特性を踏まえて、栄養指導の内容についてわかりやすく効果的に話することができる。	対象者の特性を踏まえて、栄養指導の内容についてわかりやすく話することができる。	課題とする栄養指導の内容について理解し、適切な速さや声の大きさと正しく伝えることができる。	話す速さや声の大きさ、態度に気を付け、対象者に伝える意欲をもって話することができる。	話す速さや声の大きさが不適切で分かりにくい。
			⑧ コミュニケーション力	20						20	グループで協力して対象者に応じた栄養指導を分かりやすく行うことができる。	プレゼンテーション力、意思伝達力	発表内容、態度	親しみやすい態度で、対象者の行動変容を促す実践的な内容のプレゼンテーションを行うことができる。	グループで協力して対象者に応じた栄養指導のプレゼンテーションを行うことができる。	グループで協力し、適切な時間で対象者とやり取りをしながらプレゼンテーションを行うことができる。	一通りのプレゼンテーションを行うことができるが、時間配分や内容が課題に適していない。	対象者に合わせたプレゼンテーションを行うことができない。
	実 践	行動・応用	⑨ 主体性															
			⑩ 協働性	5						5	栄養指導の場面で適切なコミュニケーションをとって自分の役割を果たすことができる。	他者理解 チームワーク、リーダーシップ	グループワーク 自己評価表	仲間と協力し、チームの中核となって業務の遂行ができる。	仲間と適切にコミュニケーションをとって自分の役割を果たすことができる。	報告・連絡・相談、相手や場に応じた接し方が適切にできる。	報告・連絡・相談の必要性や相手・場に応じた接し方の必要性を理解している。	グループワークへの意欲を示さない。
合計				100	40		20			40								